

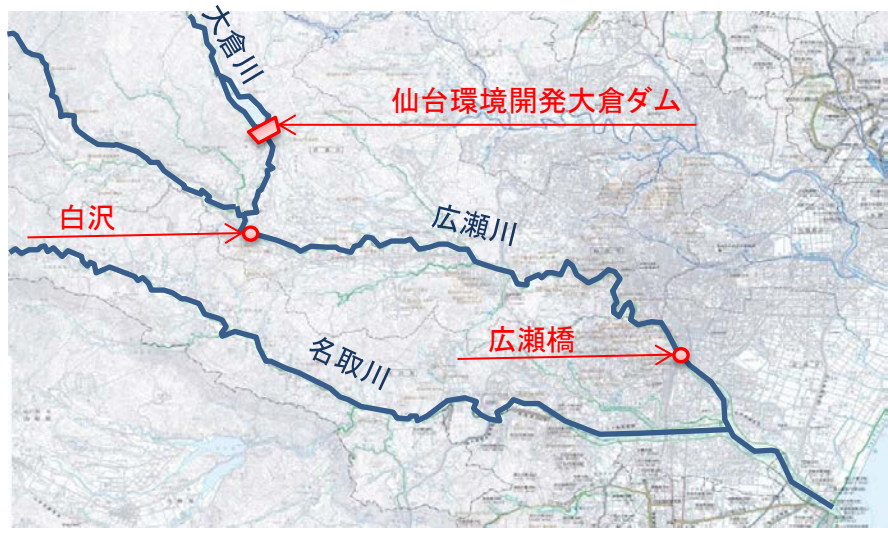
一級河川名取川水系 大倉川 大倉ダムの効果(平成28年8月17日)【速報】

宮城県

○大倉ダムでは、平成28年8月17日に、台風7号に伴う大雨により、**流域平均の累計雨量が145mm、最大時間雨量では18mmを記録しました。**これによるダムへの最大流入量は、計画1,200m³/sに対し、**182.71m³/sを記録しました。**

○今回の洪水調節により**最大流入時の96.4%(176.06m³/s)を貯留し、**下流河川の水位上昇を軽減しております。

ダムの位置図



ダムの状況写真



(洪水前 8月17日 17時0分)



(洪水後 8月17日 13時00分)

大倉ダムの洪水調節実績

・洪水調節	開始	16日 18時 0分	終了	17日 14時 30分
・ダム流域累計雨量		145 mm	(16日 18時 ~ 17日 14時)	
・最大時間雨量		18 mm	(17日 6時 ~ 17日 7時)	
・ダムへの最大流入量		182.71 m ³ /s	(17日 9時 30分)	
・最大流入時の放流量		6.65 m ³ /s		
・ダムによる最大調節量		176.06 m ³ /s	(約 96.4%)	

大倉ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の 96.4% をダムに貯留しました。

最大流入時の放流量
6.65 m³/s

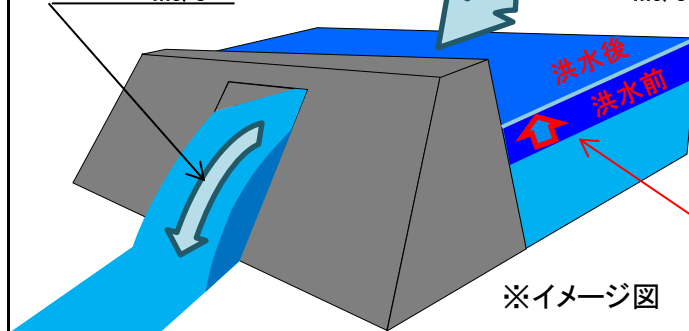
最大流入量
182.71 m³/s

洪水調節開始時の貯水位
262.1 m

洪水調節時の最高貯水位
262.19 m

最大貯留量
124 千m³

0.09 m上昇



※イメージ図

○大倉ダムの洪水調節等により、白沢地点で約0.64m、広瀬橋地点で、水位を約0.32m低減させる効果があったものと推測され、ダムの効果により、河川が氾濫する危険が軽減されました。

下流河川の状況写真

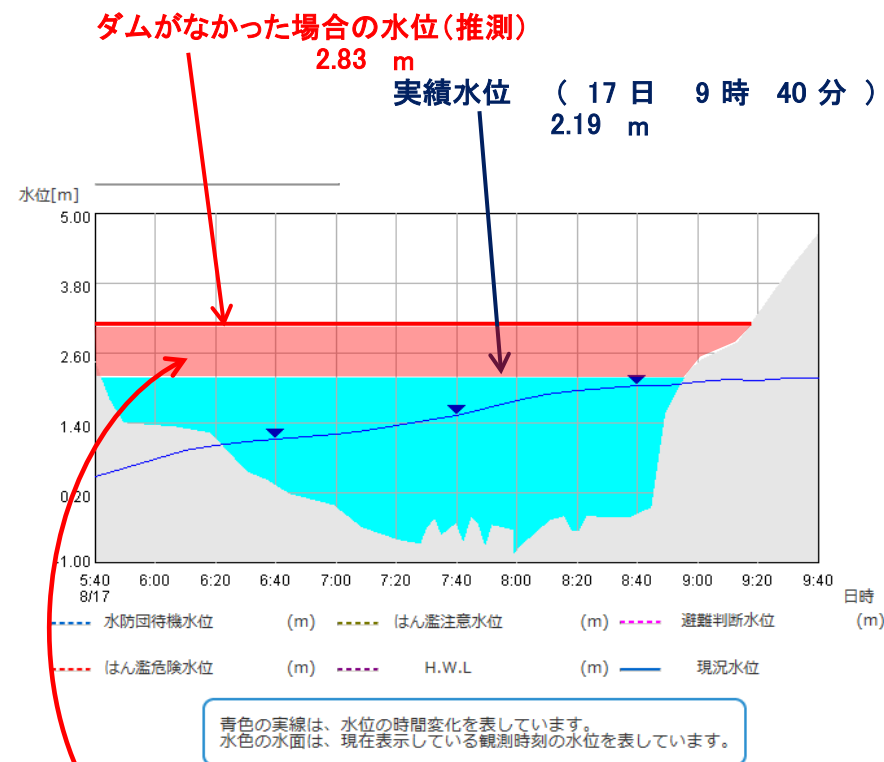


水位 -0.17m 流量 5.01m³/s
白沢水位観測所(洪水後 8月16日 14時00分)



水位 0.54m 流量 44.27m³/s
白沢水位観測所(洪水後 8月18日 10時00分)

広瀬川(白沢地点)の水位低減効果



ダムにより約0.64mの
水位低減効果を推測